

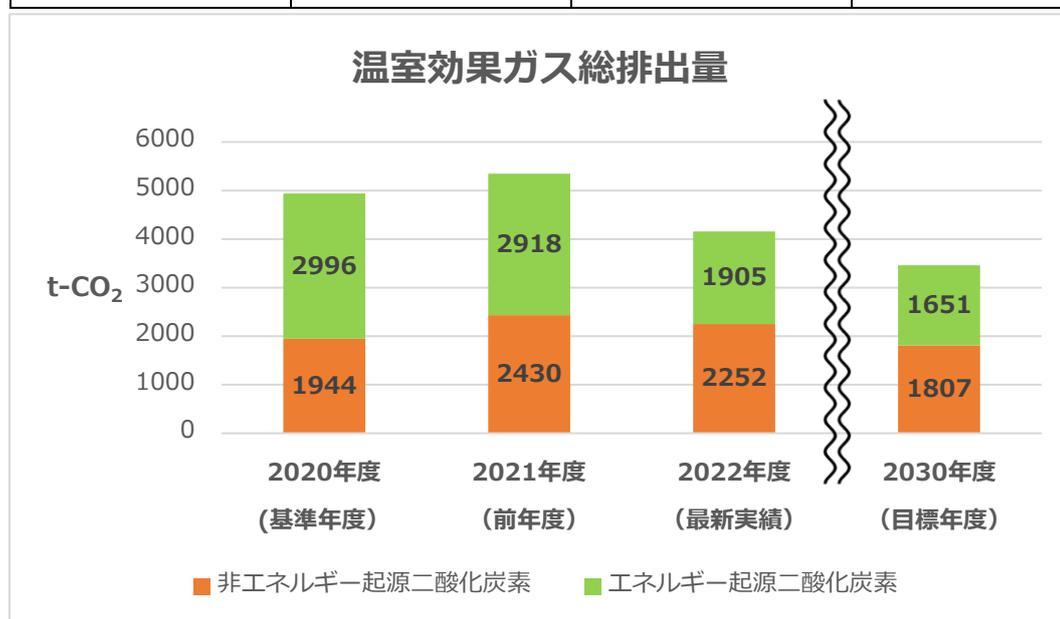
佐々町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進捗状況（2022年度）

1. 2022年度実績

2022年度の佐々町の温室効果ガス総排出量は4,157 t-CO₂で、基準年度（2020年度）と比較すると783 t-CO₂の減少、前年度（2021年度）と比較すると1,191 t-CO₂の減少となります。主な要因として、一部の施設における電力契約会社の変更に伴う基礎排出係数の改善や、燃料の使用量の減などが挙げられます。

◎温室効果ガス総排出量増減表

	2020年度 (基準年度)	2021年度 (前年度)	2022年度 (最新実績)	2030年度 (目標年度)
エネルギー起源 二酸化炭素	2,996 t-CO ₂	2,918 t-CO ₂	1,905 t-CO ₂	1,651 t-CO ₂
非エネルギー起源 二酸化炭素	1,944 t-CO ₂	2,430 t-CO ₂	2,252 t-CO ₂	1,807 t-CO ₂
合計	4,940 t-CO ₂	5,348 t-CO ₂	4,157 t-CO ₂	3,458 t-CO ₂



◎温室効果ガス総排出量削減率

	対基準年度比 (2020年度比)	対前年度比 (2021年度比)
エネルギー起源 二酸化炭素	36.4%減	34.7%減
非エネルギー起源 二酸化炭素	15.8%増	7.3%減
合計	15.9%減	22.3%減

2. まとめ

2022年度の温室効果ガス総排出量は対基準年度比、対前年度比ともに下回る数値となりました。しかし、非エネルギー起源二酸化炭素の排出量は、基準年度と比較して廃プラスチック類の焼却量が増加していたため、基準年度を上回る排出量となっています。今後ごみの再資源化など、引き続き温室効果ガスの排出量削減に向けて取り組みます。